



問 東海村原子力人材育成計画は何を
目指すのか
答 原子力関連企業に携わる人材育成・
確保が目的

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 原子力を中心に発展してきた東海村として、「人と社会と原子力」が調和した安心・安全な「新しいまちづくり」が求められている。国は、「企業や国際社会が求める人材像をよりの確に把握し、効果的・効率的・戦略的に人材育成活動を推進し、知識、技術、国際力を兼ね備えた優秀な人材を継続的に輩出する」ことを目的にさまざまな施策を展開。東海村から立ち上げた原子力人材育成計画は何を目指すものなのか。

村長公室長 近年、原子力関連企業において技術者等の人材確保が困難な状況とことから、本村における雇用の場の確保や原子力施設の安全性の確保の点から、関係機関が連携して原子力人材の確保に取り組むもので、将来的には次代を担う人材の

国際原子力人材育成イニシアティブ

<事業概要>

- 原子力人材の育成・確保は、原子力の基盤を支え、より高度な安全性を達成し、原子力施設の安全確保や古い原子力発電所の廃炉を円滑に進めていく上で不可欠である。
- 一方、原子力教育を行う講師や放射性物質等を扱える原子力施設は限定的であることから、産学官の関係機関が連携することによって、人材育成資源を有効に活用するとともに、企業や社会から求められる人材像をより正確に把握することによって、効果的・効率的に人材育成を行う。
- 平成24年度からは、東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓等を踏まえ、プラントシミュレータを用いたシニアオペレーター指定演習等を通じて、原子力安全の一層の高度化を図る上で基盤となる安全・危機管理に係る人材育成の取組を実施している。

<実施機関・体制等>

文部科学省
①コア-設定・公募
②応募
③課題審査・採択
大学、民間企業、独立行政法人等
課題実施
連携・協力機関

<予算額の変遷等>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
予算額(百万円)	356	325	519	329	355	355	362
実施課題数	12	14	26	25	27	27	-
採択率	1.5	2.1	1.5	2.3	2.3	1.6	-

<実習風景、主な成果例>

文部科学省 原子力科学技術委員会 原子力人材育成作業部会(第3回) 配付資料(参考資料5)より抜粋

育成も見据えた事業展開を目指すもの。

村長 原子力産業が集積している村として、協議会を立ち上げ、工業製品やサービス(安全評価・分析技術)等、村から始める人材確保で実績を作り、人材育成の拠点としたい。



問 家族葬を行える村営の式場が必要
答 常陸海浜広域斎場内の式場を使っ
てほしい

光風会 江田 五六 議員

議員 高齢化、核家族、長寿社会において老々看取り、老々葬儀の傾向にあり、最近では家族葬のニーズが高まっている。村営須和間公園墓地内に立派な休憩所があるが、ほとんど使われていない。休憩所としての利用に制限するのではなく葬儀が行えるようにすることによって、施設の有効利用が図られると思うが、村の考えを伺う。

村民生活部長 休憩所は事務所利用をしているため葬儀を行うことはできないので、常陸海浜広域斎場を利用していたらいい。

議員 村民にとっては、ひたちなか市にある斎場よりも、何かと対応しやすい村内にあることが理想ではな



東海村公園墓地須和間霊園

茨城新聞お悔やみ欄
掲載人数と亡くなった方

	9月	10月
掲載された方(人)	9	8
亡くなった方(人)	33	26